令和３年度　特色ある学校づくり推進事業報告書

『交流活動を通して学校や地域にたくましく生きる児童の育成』

あま市立甚目寺西小学校

１　目的

校訓「明るく　やりぬく　たくましい子」のもと、様々な人との温かいふれあいを大切にした学習の場を積み重ねていくことにより、互いを思いやることの大切さを学ばせるとともに、規範意識の高揚も図っていきたいと考えています。

２　内容

（１）体験と交流を通して

ア ペア学年活動（異学年交流活動）

本校でのペア学年活動は７年目を迎えました。運動会をペア学年単位で３部に分けて実施し、上級生が下級生の補助をしました。また、昨年度より設けた「ペア学習」の場では、タブレットを利用して上級生が下級生への問題やヒントカードを作成し、タブレットを通してやりとりを行いました。コロナ禍においても異学年が関わりをもち、人間関係を築くことができるよう、工夫しながら活動を続けています。

【１・６年生運動会】

イ　狂言出前授業

能楽師の井上松次郎氏を招き、日本の伝統芸能を体感しました。登場人物のユーモラスで大きな動きを真似てみたり、講師の発声に聞き入ったりし、狂言を身近に感じることができました。

【狂言出前授業】

ウ　スリーハート運動

本校では、毎年、規範意識の高揚と人権モラル向上をめざした「スリーハート運動」に取り組んでいます。児童と保護者、そして地域の方々から標語作品を募集し、選ばれた３作品を１枚のポスターにまとめ、高学年の児童が近隣の公共施設や商業施設等へ出向き、掲示のお願いをしました。

エ　マロニー小学校との交流

アメリカ・マロニー小学校との交流活動は７年目となりました。今年度は絵本を通して日本に触れてもらおうと、「ももたろう」や「のりまき」、

里山の美しい風景など、図書支援員お薦めの４冊を送りました。

オ　ハッピートーク

あたたかい言葉や豊かな表情は、伝えたい気持ちをよりスムーズに相手に伝えることができることを、体験的に学びました。ハッピートークを学んだ後に、５・６年生は隔週で「ハッピートーク朝礼」に参加をしています。オンラインで講師やゲストの先生、他校の児童とつながり、トレーニングを行ったり、元気の出るお話を聞いたりしています。

【ハッピートーク】

（２）教師力アップで子どもたちの成長と幸福を

ア　合唱指導

例年、堀田みどり先生を講師に招いて指導をいただいています。発声法のみならず、児童の気持ちをのせる声かけや練習方法など、教師にとっても大きな学びとなります。今年度はコロナ禍により、やむなく延期をしています。

イ　現職教育の充実

名城大学教授の曽山和彦先生をお招きし、対話トレーニングの研修を行いました。これを元に今年度より「にしっこタイム」を立ち上げ、児童が互いに関わり合う力を育むこととなりました。また、既に実践による成果を上げている七宝中の先生方を講師に招き、指導助言をいただきました。

【校内現職教育】

３　評価

体験と交流を通して、児童の心を育てる活動を行いました。延期や中止となった活動もありましたが、タブレットやオンラインなどを利用しながら、取り組みを継続させることができました。学校評価アンケート結果からは、自身の成長を感じながら学校生活を楽しむ児童の様子が伺えます。自他を大切にする気持ちや態度が育ちつつあると感じます。

４　課題

コロナ禍により、子どもたちが大きな声で笑い合ったり、友達とおもいきりじゃれ合って遊んだりする機会が減りました。多くの制限の中で、人と人が充分に関わり合えないことによる弊害を感じています。このような時だからこそ、児童同士、児童と教師、職員間の関係をより大切にし、活動の精選や持ち方の工夫をしながら実践を重ねていきたいと考えます。